

2月19日 年間第7主日

愛の中を歩みなさい

マタイによる福音書 5章 38～48節

³⁸「あなたがたも聞いているとおり、『目には目を、歯には歯を』と命じられている。³⁹しかし、わたしは言うておく。悪人に手向かってはならない。だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。⁴⁰あなたを訴えて下着を取ろうとする者には、上着をも取らせなさい。⁴¹だれかが、一ミリオン行くように強いるなら、一緒に二ミリオン行きなさい。⁴²求める者には与えなさい。あなたから借りようとする者に、背を向けてはならない。」

⁴³「あなたがたも聞いているとおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。⁴⁴しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。⁴⁵あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。⁴⁶自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな報いがあるろうか。徴税人でも、同じことをしているではないか。⁴⁷自分の兄弟にだけ挨拶したところで、どんな優れたことをしたことになるろうか。異邦人でさえ、同じことをしているではないか。⁴⁸だから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。」

他の朗読：レビ 19:1, 2, 17, 18 詩編 103:1～4, 8, 10, 12, 13 Iコリント 3:16～23

Lectio …読む

この朗読箇所は、イエスがいくつかの旧約聖書の教えを強調することで始まります（出エジプト 21章 12～27節とレビ記における平行した引用句）。イエスは、律法（トーラー）で定められた教えと、新しく示す態度と行動のあり方とを対比したいのです。

律法は被った損害と同じ賠償をするように定めていました。目には目を、等です。イエスは弟子たちの目を、寛大さが基準である新しい物の見方へと向けさせています。

人間の予想をはるかに上回るこの種の態度について、イエスは神を模範としています。神が完全であられるように、私たちも神を真似なくてはなりません（48節）。神は、人類への祝福を惜しみなく与えるときには、良い人も悪い人も区別なさいません。こうして神は完全さを示しているのです。

トーラーは、人々が神と同じように聖であり完全であることを要求しています（レビ記の今日の朗読箇所参照）。福音朗読において神は、他人に恨みを抱くことをやめ、争いを解決し、自分を愛するように他人を愛しなさいとご自身の民に求めています。そのように私たちが生きるとしたら、世界は何と違うものになることでしょうか。これこそイエスが私たちに示す挑戦です。私の例に従いなさい、と。

Meditatio …黙想する

他人に対するあなたの態度について誰か影響を与えていますか。神ですか、それとも「世の中」ですか。

御国の価値観についての今日の箇所から、私たちは何を学ぶことができますか。今どのような実際的な方法で御国の道に生き始めることができるでしょうか。

あなたは今までに、おそらく教会内ですら誰からも話しかけられないような状況に置かれたことがありますか。47節の言葉の中で、イエスは他人に対して親切にするよう促しています。この週の間、人々に親切な言葉を話しかけるチャンスを探してみましよう。

Oratio …祈る

「わたしの魂よ、主をたたえよ。／主の御計らいを何ひとつ忘れてはならない。

主はお前の罪をことごとく赦し…

主はわたしたちを／罪に応じてあしらわれることなく

わたしたちの悪に従って報いられることもない。」(詩編 103 編 2、3、10 節)

神があなたに示した慈しみと恵みに感謝しましょう。もし赦せない人がいたり、愛するのが難しいと感じている人があれば、神に助けを願いましょう。神があなたを赦してくださったことを思い出すことが、助けになるかもしれません。

今日の箇所はとりわけ、私たちが迫害する人々のために祈るように教えています。あなたに不親切であったり、あなたを傷つけたりする人がいたかもしれません。彼らを主の前に差し出し、どうしたら彼らのために祈ることができるかを神に尋ねてみましょう。

Contemplatio …観想する

イエスがどのような方法で、隣人を自分と同じように愛し「もう一方の頬をむける」模範を私たちに示して下ったのか、よく考えてみましょう。

本当の知恵とは何でしょうか。I コリント 3 章 16 ～ 23 節を読んで、神が賢いと考えるものは何かについて考えてみましょう。